

2023年度活動報告（案）

特定非営利活動に係る事業に関する報告

2023年度を振り返って

今年度はWE21ジャパン設立25周年の節目だった。記念の寄付キャンペーンやアニバーサリーフェスタを通じて、大勢の方たちと祝うことができ、あらためてWE21ジャパン・グループのネットワークする力を感じることができた。

WE21ジャパンは地球に住み暮らすあらゆる人々が、生きるために必要な条件や権利を公正なルールによって保障され、自律した地球市民として行動できる社会を目指してきた。リユース&チャリティショップという身近で参加できる拠点を通じて世界に目を向けるという仕組みは、地域で共感を得て神奈川県下に57ショップを展開するまでになった。この間、WE21ジャパン・グループは、問題が生じるたびに皆で話し合い、組織の見直しを繰り返すことで発展をしてきた。

しかし、25年の時を経てWEショップも様々な理由から43ショップにまで減少をしてきている。また、WE21ジャパン自身も収入の減少に伴う業務の見直しが進まず、財政の立て直しができずに経営の危機に陥ってしまった。

そこで財政改善を中心に組織の見直しを図る組織検討会議を設置し、WE21ジャパン・グループメンバーと協議しながら改革案を策定した。

このような中でも今年度、寄付物品販売イベントやオンライン事業による収入確保、共感者を増やし情報を届けるための広報手段としてのメールマガジンの開設、WE21ジャパンの理念を市民に広げるための連続平和講座の開催、10年続く森育ちのしょうがパウダー事業継続のための価格改定調査など、次のステップに向けて積極的に活動を進めてきた。

これらの活動をWE21ジャパンの再生とWE21ジャパン・グループの活性化につながるよう今後に生かしていきたい。

1. 社会を変えるための市民力を高める活動

全体総括

昨年から引き続き、平和国家日本が武器輸出や、武力拡大へ舵を切ったことは私たち市民にとって大きな日本の転換として危機感を持ち、平和について考える連続講座を開催した。特に、（特非）地球の木や、非戦ネットともに連携できたことは、これからのWE21ジャパンの政策提言・共有活動の進め方につながる事例となった。今後はWE21ジャパン・グループだけでなく様々な団体とネットワークすることでWE21ジャパンのビジョン・ミッションを伝えていきたい。

1-1 理事会のもとでの平和チーム・環境チームの結成を検討した。

1) 平和チームは現自主活動チームである平和政策チームと協議し、自主活動チームのまま継続することになった。環境チームについては理事会で組織の継続とグループにとって必要な「リユース・リサイクル事業」に法人としての活動を集中させていく方向性を出したことにより、環境チームを作り共有事業を強化することは見合わせることにした。

2) 平和政策チームと連携し、非軍事国日本のかたちが大きく変わる恐れがある状況について考え、行動するために3回の講座を開催した。

5/27「今、改めて平和について考える～四半世紀の活動経験から～」講師：目加田説子氏
参加者：57名（会場26名，ZOOM31名）

8/8「日本の国際協力が変わる！！『OSA（政府安全保障能力強化支援）』について考えよう！」（（特非）地球の木共催、横浜NGOネットワーク協力）講師：今井高樹氏
参加者：42名（会場11名，ZOOM31名）

9/24「日本のかたちが変わる！～他国への武器輸出～」平和政策チーム企画
講師：杉原浩司氏 参加者：45名

1-2 25周年記念行事として、アニバーサリーフェスタを開催、WE21ジャパンのビジョンを伝える展示を行った。

25周年記念として開催した11月「WE21ジャパン25周年記念アニバーサリーフェスタ」にて、25周年の活動記録の展示企画を行った。メッセージの書き込みや、地域での展示を希望する声など共感を得ることができた。25周年記念講演に関しては、組織改革を進めることを優先し開催を見合わせた。

1-3 環境、貧困、人権、平和を脅かす課題について、声明や署名活動などをNGOや市民団体とともにネットワークして行った。

以下の声明、署名への賛同を行った。

10/15【緊急アクション】日本のNGOによる外務省への要請文：イスラエル・パレスチナにおける武力行為の即時停止への働きかけを求めます

10/17【共同声明】日本は「死の商人」になるのか 殺傷武器の輸出に反対する共同声明

11/16【日本のNGOによる要請文】イスラエル・パレスチナにおける武力行為の即時停止への働きかけを求める

11/29【要請書】ミャンマー軍を利するODAと公的資金供与事業の停止を日本政府に求めます

2/5【緊急アクション】NGOによる外務省への要請文：日本政府によるUNRWAへの資金拠出一時停止の撤回を求めます

1-4 大学の講座や見学の受け入れを積極的に行い、若い世代に、WE21ジャパンの実践から学んでもらえるように働きかけた。

関東学院大学との連携を進め、経済学部基礎ゼミナールでのWEショップかなざわと連携した講座開催、長期国際インターンシップでの3名の学生インターンの受け入れを行った。

アクションポート横浜NPOインターンシップにて1名の学生インターンを受け入れた。

【日時】通年

【場所】神奈川県内、及び近隣都県

【従事者人員】30人（理事、事務局、開発教材チーム、平和政策チーム）

【受益対象者】市民、WE21ジャパン・グループのメンバー

【支出】720,638円

2. 資源のリユース・リサイクルを推進する環境事業

全体総括

全国の企業、個人から届けられる寄付品を「WE21ジャパンオンラインショップ（以下 オンラインショップ）」「イベント」「お助けゲット」などで最大限有効活用し、環境活動につなげたが、共感者を増やすための広報は出来ていない。

エコものセンターを拠点とした物流事業は滞りなく進めた。ただし、現エコものセンターに移転した際は54ショップでスタートしていたものの43ショップに減ったことにより利用ショップの負担が増えてきている。今後も空きスペースが増えることが想定されることからエコもの移転チームを立ち上げた。

2-1 寄付品の有効活用

1) オンラインショップ

・オープンから3年目を迎えたオンラインショップは徐々にアクセスが増え、また年4回のセール企画を実施したことで、実績1,479,450円（目標120万円）を達成できた。

寄付物品販売 1,463,750円／フェアトレード品等販売 15,700円

表：セール開催実績

	企画名	売上	件数	点数	目標額	達成率
8月	サマーセール	131,325円	12件	29点	30万円	43.7%
12月	会員限定「クリスマス クーポンプレゼント」	113,600円	3件	8点		
1月	新春ハッピーセール	155,022円	15件	31点	30万円	51.6%
3月	決算セール	296,810円	17件	50点		

- ・オンラインショップを知ってもらうため、Instagramとホームページ（以下HP）を活用し、広報の強化に努めた。Facebookは開設したが、活用には至らなかった。
- ・GoogleアナリティクスとGoogleサーチコンソール、また、Instagramのインサイトを参考にお客様データを分析し、販売企画に活かすことができた。
- ・7月と8月にオンラインショップに参加する地域NPOのための説明会を開催したが、現時点までの参加地域はなかった。（説明会参加地域数 6地域）
- ・11月から3回、企業診断士によるオンライン事業に関する無料アドバイスを受け、ターゲット層の再確認をし、サイト構成とトップ画面のあり方、視認性の高いInstagram投稿画像など、売るための戦略を学んだ。
- ・「アニバーサリーフェスタ」「WEバザールin相模大野」でオンラインショップ取扱品を販売した。

2) イベント

- ・毎月第3水曜日に物流倉庫（以下エコものセンター）で開催する「倉庫deバザー」は来場者が増え、定着しつつあったが、寄付品をイベント開催に向けるため7月をもって終了とした。（売上:4月～7月 ¥721,290 客数273人 ボランティア数61人）
- ・年2回のイベントに加え、内部留保を確保するため、急遽、3回目のイベントを企画・実施した。

表：イベント開催実績

開催日	イベント名称	会場	売上	来客数	ボランティア 人数(延べ)
11月 2日～3日	アニバーサリー フェスタ	かながわ県民 センター	2,111,730円	640人	278人
			(内、オンラインショップ取扱品 656,800円 194点)		
2024年2月 1日～2日	着物・リメイク フェア	かながわ県民 センター	1,264,610円	433人	180人
2024年3月16 日～17日	WEバザールin 相模大野	ユニコムプラ ザさがみはら	801,510円	331人	61人
			(内、オンラインショップ取扱品 403,960円 132点)		

3) お助けゲット

お助けゲットを希望するWEショップに全国からの寄付品を分配し、寄付品の有効活用を進めた。

全国からの寄付件数	617件	776箱	
お助けゲット	平均28店舗	364箱	444箱
アニバーサリーフェスタ商品	1店舗2箱	80箱	

2-2 資源循環への取り組み

WEショップという拠点のメリットを最大限生かした環境活動として、衣類、ガラス食器、陶器、羽毛製品、廃食油、携帯電話の回収、古本のリサイクルを実施した。

白コットン（CCF）の回収活動は、共感を得るためのアクションを起こせなかったことや輸送コスト等の問題により活動を中止とした。

	取扱店舗数	事業体	回収数・量	回収収益
衣類	41	ナカノ株式会社	52,610kg	エコ手袋 266ダース
ガラス食器・ 陶磁器	23	有限会社飯室商店 木村管工株式会社	1,870kg	
羽毛製品	27	エコランド株式会社	羽毛布団274枚 ダウンジャケット505枚	98,340円
廃食油	16	株式会社ユーズ	3,108Kg	
携帯電話	7地域	株式会社三光金属	70台・その他機器1箱	7,535円
古本 リサイクル			44件 ※2023年4月～2024年1月到着分	75,234円

2-3 エコものセンターの管理運営

- 1) 労働者協同組合ワーカーズ・コレクティブ・キャリーと引き続き委託契約を結び、全ショップの寄付品管理、全国からの寄付品受取等、エコものセンターの管理運営を行った。
- 2) エコものセンターでの作業増加に伴い、寄付品対応のみのエコものワーキングチームから倉庫全体の活動を担うエコものボランティアチームを設置し募集を開始したが、登録者は6名にとどまっている。
- 3) エコものセンターの空きスペースの増加に伴う活用チーム作りはできなかった。
 - ・WEショップ閉店やコロナ禍による売り上げ減少から、物流事業の利用が減る傾向にあり、何らかの対策を講じる必要があるとして、エコもの移転チームを立ち上げた。財政の関係から2025年度移転を目指している。

【日時】 通年

【場所】 神奈川県内、及び近隣都県

【従事者人員】 25人（理事、事務局、エコものワーキングチーム）

【受益対象者】 市民、WE21ジャパン・グループのメンバー

【支出】 19,725,917円

3. アジアの市民の力を高める民際協力事業

全体総括

森育ちのしょうがパウダーの販売を通して、住民組織ウバパス、ダイヨコン、ランパダが行う地域保健活動を支えた。活動の継続に向けて、価格の改定調査を行い、次年度からの価格を決定した。

慶南地域自活センターとの交流事業では、慶南地域自活センターとの友好協定に基づき、ハプチョン地域自活センター・チャンニョン地域自活センターとWE21ジャパン藤沢、コソソ地域自活センター・ジンジュ地域自活センターとことぶき協働スペースとの地域間交流のコーディネート継続した。10月には慶南地域自活センター職員の来日研修をコーディネートし、交流を深める事ができた。その一方、WE21ジャパンがコーディネート継続するのは活発になるほど負担が大きく、課題が残った。

3-1 「森育ちのしょうがパウダー」フェアトレード事業

1) 価格改定への取り組み

事業開始から10年が経ち、今後も持続可能な形で生産地の支援を継続していくために、価格改定を目指して活動を行った。

- ・価格改定に向け、フェアトレード取り組み団体2団体から聞き取りを実施。
- ・シュントック財団アイダさんとミーティングを実施し、価格積み上げの根拠確認、生産地の要望を確認した。生産地はコロナ禍の影響も終わり、通常の活動が行えており、有機野菜の販路拡大等、活動が広がっている。
- ・新価格を積み上げ、取り組み地域との森育ちのしょうがパウダーミーティングを行い、新価格を決定した。

新価格の内訳

150g				
	1800本 (ペソ)	1800本 (円)	1本 (ペソ)	1本 (円)
紙パッケージ代	3,654	10,231	2	6
生産者への支払い 80ペソ/1個	144,000	403,200	80	224
コーディネート費用 8ペソ/1個	14,400	40,320	8	22
発送費用	290,000	812,000	161	451
車両チャーター代	12,660	35,448	7	20
海外経費計	464,714	1,301,199	258	723
関税・消費税・ 通関料		299,022		166
国内事務経費		310,260		172
国内経費計		609,282		338
総計		1,910,481		1,061

2024年度小売価格 150g				
	卸価格(税抜)	卸価格(税込)	販売価格(税抜)	販売価格(税込)
卸価格+マージン	1,061円	1,146円	1,111円	1,200円

2) 販路拡大に向けた取り組み

- ・WE21ジャパン・グループの「WEショップ」、まどか工房、株式会社大川印刷に加えて、株式会社しまろぜ、ハーチ株式会社へと販路を拡大する事ができた。

販売実績	販売個数	昨年比
地域NPO卸販売	1,982個	+227個
まどか工房卸販売	90個	+10個
関連団体、企業への卸販売	38個	+3個
一般販売	144個	-31個
総計	2,254個	+209個

3) 森育ちのしょうがパウダーへの共感を高めるためのWE講座を実施した。今年度は広く一般を対象とした活動紹介のオンラインイベントは行わず、以下の地域NPOを対象とした講座を行った。

5/28 WE21ジャパンかながわ、9/30 WE21ジャパンざま

4) 開発教材「今日はフェアトレードの日!？」を活用し、フェアトレードの意義、価値を広く一般に共育する活動を開発教材ワーキングチームと共に行った。

8/11 d-lab2023 (第41回開発教育全国研究集会) (参加者:12名)

10/28 SDGsみなと喫茶『開発教育を語ろう! 広く国際がキーワード! ~K-DECカフェ~』(参加者:6名)

2/17 SDGs多文化CITYフォーラム(参加者:8名)

3-2 慶南地域自活センター交流事業

- WE21ジャパン藤沢、ことぶき協働スペースと慶南地域自活センターとのコーディネートをし、地域間交流を進めた。藤沢では若者サポートについての韓国と日本の実態や制度について情報交換を行った。

6/1, 8/2	WE21ジャパン藤沢とチャンニョン、ハプチョン地域自活センターとの交流会
4/20, 6/14, 8/3	ことぶき協働スペースとコソン、ジンジュ地域自活センターとの交流会
10/4	6団体での合同交流会「韓国のヤングケアラー支援制度について」

- 10月には10/24~27慶南地域自活センター職員研修の受け入れを行った。
訪問先: 藤沢市Fプレイス、WE21ジャパン藤沢、座間市役所、ことぶき協働スペース

3-3 WE21ジャパン・グループの民際協力一覧の発行

- 9月民際協力一覧を発行し、グループ全体の民際協力活動の紹介に活用した。
- 民際協力一覧を元にした支援先地図を年次報告書に掲載しグループの活動の広がりを紹介することができた。
- 各種イベントにて、フェアトレード取り組みショップの地図を作成して紹介した。
- イベントにて支援先地図パネルを掲示した。

【日時】 通年

【場所】 神奈川県内、及び近隣都県

【従事者人員】 13人 (理事、事務局)

【受益対象者】 市民、WE21ジャパン・グループのメンバー

【支出】 3,878,810円

4. 市民発の情報機能を高める事業、及び前項1, 2, 3に関する広報活動

全体総括

HP・SNSやかわら版を活用し、WE21ジャパン・地域NP0の活動を継続して発信した。今年度は、加えて5月にメールマガジンを再開したことで、会員や寄付者へ、より直接的な情報発信もできるようになった。3年ぶりに開催したフェスタでは、25年間の活動年表を掲示し、来場客やボランティアとWE21ジャパン・グループのこれまでを振り返り、成果を共有する機会とすることができた。また、これらイベントや講演会に際したリリース配信等で、メディア掲載が増加し、新規メディアとの繋がりを得ることもできた。

一方で、年度途中からのWEショップ取材企画やレポート、リーフレット改訂は人員・予算不足で実施できなかったため、次年度体制の中で計画を見直す。

4-1 市民に向けたタイムリーな情報発信とグループに対する広報活動

1) HP・SNSによる情報発信

イベント、キャンペーン開催などのお知らせ・報告、声明への賛同表明等を掲載した。Facebookの活用機会は減少したが、Instagramの活用が増加し、フォロワーが増加した。

	投稿記事数	ユーザー数/フォロワー数
HP	NEWS : 61件 WE21ジャパン・レポート : 1件	ユーザー(訪問者)数 : 27,846人 (前期※比11,895人) ※改訂のため10/1～の計測
Facebook	121件 (37件減)	フォロワー数 1636人 (7人減)
Instagram	114件 (17件増)	フォロワー数 WE21ジャパン 428人 (112人増) WE21ジャパンオンラインショップ 244人 (86人増)

2) WE21ジャパン・グループみんなのかわら版」の配信

- ・「みんなのかわら版」No. 376～387を月1回配信した。(A4/3～7ページ)
- ・「着物フェア」「着物常設店一覧」は毎月HPに掲載した。

3) ニュースリリース配信

4月	日本社会が軍備拡大に向かう今こそ、改めて「平和の在り方」を考える ～平和のために”軍事力”ではなく”市民の力”が果たす役割を考える講演会を開催します
8月	日本は平和国家なのに、武器で途上国の軍隊を支援？～WE講座「日本のかたちが変わる！ ～他国への武器輸出～」を開催します
9月	「WE21ジャパンを次の25年に続けたい！」25周年記念クラウドファンディングを実施します！
10月	【だれでもできる！楽しいお買い物で資源循環】アニバーサリーフェスタを開催します
12月	～【資源循環×伝統文化】着物からつながる“もったいない”～着物のリユースとリメイクを通じて、持続可能なライフスタイルを地域に広めるイベント「着物・リメイクフェア」を開催します
2月	楽しいお買い物で資源循環&被災地を応援！身近な資源の循環と能登半島地震 被災地支援のためのチャリティミニバザーを開催します

4) メディア等情報掲載

神奈川新聞	5/19	軍備拡大へと進む社会を考える 国際政治学者の目加田説子さんが講演会
	6/21	世界的視野で市民の連携を WE21ジャパン、平和テーマに講演会
	9/24	市民が平和を守るために何をすべきか 産業貿易センタービルで講演会
	10/25	WE21が寄付キャンペーン 設立25周年
	11/22	楽しい買い物で資源循環に一役 WE21がバザー
	2月	WEバザールin相模大野
夕ニュース保土ヶ谷区版	5/4	「今、改めて平和について考える」 WE21ジャパンがオンラインで講演会 5月27日
週刊金曜日	9/22	情報欄「きんようびのはらっぱで」 平和政策講座について
のんびる	11/18	リユース・リサイクルで環境破壊と貧困解決に貢献
はまかぜ新聞	12/22	リユース・リサイクルで資源の循環「着物・リメイクフェア」開催
参加システム	7月号	市民は平和を守るために何ができるのか
	1月号	韓国のヤングケアラー支援に学ぶ
Circular Yokohama	10/10	保土ヶ谷区のNPO法人「WE21ジャパン」25周年記念アニバーサリーフェスタを開催
YOUテレビ	2/19～25	「地域情報番組 My You」 着物・リメイクフェアについて
EBS(韓国教育放送公社)	11/4	「ESG環境特集:地球のための衣気投合」 衣類のリユース・着物のリメイクについて (協力: WE21ジャパンちがさき)

5) 広報物制作

4月	第24回総会講演会チラシ	800部
7月	9/24平和政策講座チラシ 倉庫deバザー最終回チラシ 8/8 OSA学習会講座チラシ	2000部
8月	アニバーサリーフェスタチラシ アニバーサリーフェスタポスター 古本募金新チラシ 25周年記念事業お知らせチラシ	13,500部 90部 1000部 600部
9月	寄付キャンペーン2023チラシ	600部
10月	25周年挨拶チラシ	4000部
11月	帯・和小物募集チラシ 着物・リメイクフェア2023チラシ 着物・リメイクフェア2023ポスター	3000部 11,500部 90部
12月	GDPチラシ (WE21ジャパン配布用)	800部
2月	WEバザールin相模原チラシ	7500部

4-2 メールマガジンの再開

5月に新タイトル「WE Letter」として再開した。登録者数：841人

5月	創刊	WE21ジャパンメールマガジン再開のお知らせ
6月	Vol. 2	WE21ジャパンメールマガジン第2号をお届けします！
7月	Vol. 3	日本の国際協力はどうなる？緊急学習会と夏休みワークショップ開催！ WE21ジャパンの8月イベントをお知らせします
9月	Vol. 4 臨時号	・WE21ジャパンは25周年を迎えます！記念企画や「日本の平和を考える」講座のお知らせ ・本日開始しました！WE21ジャパンを次の25年に続けたい！ ～設立25周年記念寄付キャンペーン～（～10/31まで）
10月	Vol. 5	WE21ジャパン25周年記念アニバーサリーフェスタまであと3週間！
11月	Vol. 6	WE21ジャパン25周年記念事業が終了しました！ たくさんのご支援・ご参加をありがとうございました
12月	Vol. 7	「着物・リメイクフェア2023」開催決定！年内最後のお届けです
1月	Vol. 8	今年最初のメールマガジンをお届けします！
2月	Vol. 9	着物・リメイクフェア開催ご報告&3月バザー開催のお知らせ！
3月	Vol. 10	WEバザールin相模大野開催しました！

4-3 2022年度年次報告書の発行

情報の整理と見やすさの改善を図り、ページ数の削減等の改訂を行った。8月に発行し、地域NPO、会員、寄付者、関係者・団体に配布した。

仕様：A4中綴じ12頁・4C/2,000部

配布実績：1,816部（内：33地域NPO1,305部、会員・寄付者等483部、渉外等28部）

4-4 活動紹介リーフレットのデザイン改訂

改訂を検討したが、財政状況により予算確保が出来ず、先送りとした。リーフレットの追加の希望があった地域NPOには、複合機で印刷し配布した。

4-5 WEフェスタ

フェア、バザーイベント時、掲示物などで来場客にWE21ジャパン・グループの活動を広報した。

1) アニバーサリーフェスタ：11月2日～3日

フェスタ会場内に、WE21ジャパン・グループの25年間の活動をまとめた年表を作成・掲示した。また、協賛金の拡大のため、金額設定に応じた御礼を行う「協賛プラン」を作成した。WE21ジャパンと関係の深い6つの企業・団体より協賛を得た。

2) 着物・リメイクフェア：1月30日～31日

WE21ジャパンの活動を紹介する、パネル展示を実施した。関係企業・団体4団体（内1団体は物品協賛の形）から協賛を得た。

4-6 その他

1) ショップ取材

ショップ取材企画を開始した。7月相模原若松店、8月あさお店に訪問。

2) WEショップSNS立ち上げサポート

関東学院大学の学生インターン活動として、WEショップ藤沢店、かなざわ店のSNS（Instagram）立ち上げをサポートする企画を行った。継続的な活用を目標とし、

ショップと学生共同でのマニュアル作成等に取り組んだ。

【日時】 通年

【場所】 神奈川県内、及び近隣都県

【従事者人員】 15人（理事、事務局）

【受益対象者】 市民、WE21ジャパン・グループのメンバー

【支出】 6,152,162円

5. その他、定款第3条の目的達成に必要な事業

全体総括

財政基盤と組織基盤強化に向け、WE21ジャパン・グループに協力を仰ぎ、組織検討会議に財政と組織の見直しを諮問。提出された最終答申を元に、WE21ジャパン・グループの調整組織を主な役割とし、エコものセンターの活用の見直し、事業のスリム化を中心とした組織改革案を作成した。

財政状況の改善に向け、寄付キャンペーンによる寄付者拡大、3回の寄付物品販売イベント実施による事業収益拡大に取り組んだ。寄付キャンペーンは目標を達成し、通常の寄付でも大口寄付を獲得できたことから、予算を大きく上回る結果となった。3回の寄付物品販売イベントは、WE21ジャパン・グループの協力の元、いずれも目標金額を上回る収益を獲得できた。

5-1 WE21ジャパンの財政基盤と組織基盤強化に向けた組織の見直し

組織検討会議を設置し、財政と組織の見直しを諮問した。12月に最終答申が提出され、エコものセンターの活用の見直しと、事業のスリム化を中心とした提案を受け、WE21ジャパンの組織改革案を策定した。

5-2 組織基盤強化として、WE21ジャパン・グループとの連携協議を進めた。

・グループ会議を臨時グループ会議含め4回開催した。

7/21 第1回グループ会議 担当：川崎・東京エリア代表

テーマ WE21ジャパン「財政困難・非常事態の件」～連携する各地域NPOが現状・実態を理解し協力できること～

10/27 第2回 WE21ジャパン・グループ会議 担当：WE21ジャパン、組織検討会議

テーマ：組織検討会議中間答申について

1/23 第3回 WE21ジャパン・グループ会議 担当：WE21ジャパン

テーマ：WE21ジャパン組織改革案の討議

3/5 第4回 WE21ジャパン臨時グループ会議 担当：WE21ジャパン

テーマ：WE21ジャパン組織改革案最終版の報告、2024年度物流委託費、ネットワーク推進費について

5-3 財政改善

会員や寄付者拡大に努めると共に、オンライン事業や各種イベント等の収益事業の安定を図った。寄付キャンペーン、オンライン事業、各種イベントともに、目標を達成し、黒字転換に寄与した。しかし、運転資金は確保できたが、資産の増加には及ばず、安定経営の課題は残った。

1) 会費

総会時と年末に会員拡大強化を行ったが、団体会員の退会など、昨年度から減少の結果となってしまう。企業などの拡大がきびしい中、共感をもって支えてくれるWE21ジャパン・グループのメンバーへの働きかけを強めていきたい。

会員種別	会員資格者数	受取会費額
個人正会員	48名	510,000円
団体正会員	36団体	1,750,000円
個人賛助会員	36名	210,000円
団体賛助会員	7団体	70,000円(3口支払い1団体含む)
会費総額		2,540,000円

2) 寄付収入

寄付総額：3,048,925円

- ・寄付件数 240件
- ・内訳：寄付金141件、協賛金9件、切手・はがき46件、古本募金44件
- ・9/25～10/31 WE21ジャパンを次の25年に続けたい!～設立25周年記念寄付キャンペーン～
目標：120万円 (Syncable70万円、現金・郵振50万円)
実績：1,231,676円 (Syncable308,216円、現金・郵振923,460円)
件数：99件 (支援者数：98名) 内訳：Syncable38名、現金・郵振61名

5-4 WE21ジャパンのネットワークを活かした共同活動や、講座などを開催した。

1) ボランティアチームとの協働

- ・エコものボランティアチームを結成

2) WE21ジャパン・グループを対象とした研修・学習会・講座

- ・基礎研修 7/14リユース・リサイクル編9/21広報編を開催
- ・10/13地球の木と共催で相続セミナーを開催
- ・8/29危機管理としてインボイス研修を開催

5-5 他セクターや中間支援組織との連携

1) NGO非戦ネット

- ・6/26院内集会『他国軍への武器無償援助「政府安全保障能力強化支援 (OSA)」を考える
院内集会&意見交換会』開催に協力

2) 日本チャリティショップ・ネットワーク (JCSN)

- ・7/29「チャリティショップの持続性を高める」フォーラム開催とエコメッセちとふな店見学。(WE21ジャパン：2名参加)
- ・7/30会員集会と「WEショップほ도가や天王町店、ほ도가や星川店」見学。(WE21ジャパン：3名参加)
- ・9/15 JCSN会員オンライン研修第1回「POPのデザイン、アップサイクルの工夫」
(WE21ジャパン：28名参加)
- ・9/26 JCSN会員オンライン研修第2回「店舗デザインの基本、ディスプレイの工夫」(WE21
ジャパン：30名参加)

- ・3/8チャリティショップ勉強会「障がい者就労施設と連携に学ぶ」と「Re☆ショップあいおいやまbyオズ」「Re☆ショップなかたbyぐるっぺ」の見学。(WE21ジャパン:1名参加)
 - ・JCSN動画「チャリティショップの役割～生み出した成果～」制作、WE21ジャパン及び地域NPOから写真等の協力を行った。(3月末完成)
- 3)参加型システム研究所
- ・11/20研究フォーラム2023「子供の多様な居場所・学びの場を地域に作ろう」
 - ・情報誌参加型システム「市民は平和を守るために何ができるか」(147号)「韓国のヤングケアラー支援に学ぶ」(150号)を寄稿。
- 4)公益財団法人生き活き市民基金
- ・持続可能な社会の実現のために活動する神奈川の市民団体へ助成事業を実施。
 - ・遺贈・寄付相談市民ネットに参加し、寄付社会を広める活動を行った。
- 5)生活クラブ未来機構のエンパワメント連絡会に参加し、社会的に困難な人々への活動を共有する機会を持った。
- 6)東日本大震災・復興まつり2023実行委員会に参加。
- 7)日比NGOネットワーク(JPN)
- ・2/14JPN第2回学習会：私がゴミを拾う理由ーフィリピンと日本、ゴミを取り巻く環境の違いー開催に協力。
- 8)横浜NGOネットワーク(YNN)
- ・10/28 SDGsみなと喫茶『開発教育を語ろう！広く国際がキーワード！ ～K-DECカフェ～』開催に協力。
 - ・2/17 SDGs多文化CITYフォーラムよこはまに協力。
- 9)関東学院大学
- ・6/16経済学部基礎ゼミナールにて、WE21ジャパンのリユース・リサイクル環境事業を報告。WEショップかなざわ店との連携で行った。
 - ・国際インターンシップに協力し、3名の学生インターンを受け入れた。1名がWEショップ藤沢店、2名がWEショップかなざわ店で活動し、Instagram開設支援、マニュアル作成等の活動を行った。
- 10)その他
- ・アクションポート横浜NPOインターンシップに協力。1名の学生がWEショップつづき店で活動した。
 - ・12/10ほどがやサンタプロジェクト、3/2ほどがやマルシェに参加し、保土ヶ谷区内団体との交流を深めた。

【日時】 通年

【場所】 神奈川県内、及び近隣都県

【従事者人員】 13人(理事、事務局)

【受益対象者】 市民、WE21ジャパン・グループのメンバー

【支出】 4,313,635円